



研修名	<p align="center"><b>北九州市自殺未遂者支援者研修（消防局職員編）</b>  <b>～自殺の危険からみた自殺予防の基礎と救急対応における精神症状の理解～</b></p>
講師	<p align="center">福岡大学医学部 精神医学教室          衛藤 暢明 医師</p>
開催日時	<p>令和5年10月2日（月） 10:00～12:00</p>
開催場所	<p>北九州市消防局訓練研修センター 救急実技棟</p>
参加者数	<p>15名 （北九州市消防局新規採用職員）</p>
<p>研修の 内容等</p>	<p>【研修内容】</p> <p>自殺未遂者と接する可能性のある消防局職員で、新規採用者向けの研修を行いました。自殺に追い込まれる人の心理状況、SAD PERSONS SCALE の紹介、医療機関への繋ぎ方、自殺未遂者への対応方法など、演習を交え、すぐに実務に活かせる内容について講義がありました。</p> <p>今後も、多職種を対象に研修を行い、北九州市全体の自殺対策強化を目指します。</p> <p>【演習の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>アンケート 結果から</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自傷する人や死にたいと考える人への対応の仕方がかなり勉強になった。</li> <li>・自殺念慮のある人に対してTALKの原則に沿った対応などを学ぶことが出来た。</li> <li>・研修前の自分だったら、自殺未遂者などに間違った対応をしていたと思う。</li> <li>・TALKの原則、暴れる人に対する安全な身体拘束の方法はすぐに活用できると思う。</li> <li>・研修で学んだオーバードーズや精神病などについては、今後役に立つと思った。</li> <li>・「ブリッジ」というドキュメンタリー映画の一部を観て自殺願望のある人の気持ちを聞くことができたことは、良い経験になった。</li> <li>・これから現場でいざという時に使うことが出来る大切な知識を得ることが出来た。</li> </ul>